

日吉神社のエノキ

石川県能美市



手取川の南、JR寺井駅の北、日本海に程近い能美市福島町に日吉神社がある。石畳の参道が百歩も続き、参道沿いには杉並木、石灯籠が配され、美しい景観をつくっている。地元の人々の崇敬が厚いようだ。

本殿前の鳥居の右に、ご神木としては大変珍しいエノキの巨木がある。

ほくろく 巨木巡礼

エノキはムクノキによく似たニレ科の落葉樹で、江戸時代に一里塚に植えられた。なぜご神木に落葉樹のエノキが選ばれたのかは定かでない。

幹周は根元上部で四・八五尺。主幹は地上一段で二分岐し、さらに双方は四分岐と三分岐して、放射状に枝葉を境内いっぱいに広げている。周辺には他の樹木は見られず、エノキのために広い空間が与えられている事がわかる。

枝葉を広々と 本殿前の主役

